

みずほCustomer Desk Report 2017/08/10 号(As of 2017/08/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.01 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.11	1.1754	129.40	0.9731	1.2985	0.7894
SYD-NY High	110.37	1.1764	129.71	0.9742	1.3030	0.7914
SYD-NY Low	109.56	1.1689	128.44	0.9613	1.2970	0.7855
NY 5:00 PM	110.05	1.1759	129.46	0.9635	1.3003	0.7883
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.47/8.855		△ 25RR	1.185	Yen Call Over	
NY DOW	22,048.70	▲ 36.64	債券市場	日本2年債	-0.1130	▲ 1.1bp
NASDAQ	6,352.33	▲ 18.13		日本10年債	0.0580	▲ 1.2bp
S&P	2,474.02	▲ 0.90		米国2年債	1.3387	▲ 1.2bp
日経平均	19,738.71	▲ 257.30		米国5年債	1.8040	▲ 1.3bp
TOPIX	1,617.90	▲ 17.42		米国10年債	2.2476	▲ 1.4bp
シカゴ日経先物	19,765.00	▲ 180.00		独10年債	0.4280	▲ 4.6bp
ロンドンFT	7,498.06	▲ 44.67		英10年債	1.1090	▲ 4.8bp
DAX	12,154.00	▲ 138.05		豪10年債	2.6420	1.5bp
ハンセン指数	27,757.09	▲ 97.82		為替市況	USD/CNH	6.6921 ▲ 0.0199
上海総合	3,275.57	▲ 6.30		商品市況	ドルインデックス	93.55 ▲ 0.10
USDJPY 3M Vol	9.18	0.61%		CRB指数	181.556	0.47
USDJPY 6M Vol	9.30	0.43%		NY金	1,279.30	16.70
EURJPY 3M Vol	9.50	0.54%		WTI	49.56	0.39
EURJPY 6M Vol	9.75	0.43%		Dubai Spot	50.90	▲ 0.33

【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
8月9日	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	7月 1.4%/5.5%	1.5%/5.6%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	3.0%
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	6月 0.7%	0.6%
8月10日	6:00	NZ	RBNZ政策金利発表	-	1.75%

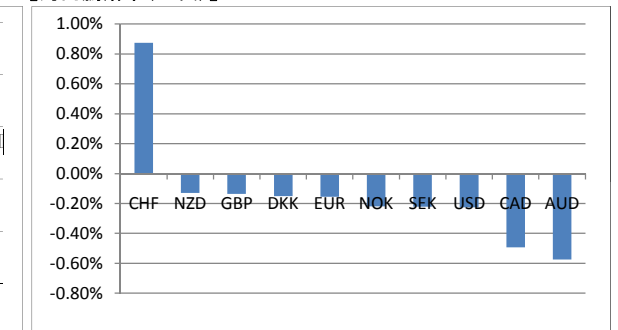
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
8月10日	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	7月 3.6%/-1.1%	-3.6%/0.6%
	8:50	日	対外・対内証券投資	-	-
	17:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 0.1%/-0.1%	-0.1%/-0.2%
	17:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	6月 0.0%/0.6%	-0.2%/0.4%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	240K 240K
	21:30	米	PP(前月比/前年比)	7月 0.1%/2.2%	0.1%/2.0%
	23:00	米	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-110.50	1.1700-1.1800	128.50-130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日は北朝鮮に関する地政学リスクの高まり等を受けたりスクオフの動きとなり、ドル円は110円の節目を割り込み一時109.56まで下落。しかしその後は、ティラーソン米務長官の「武力衝突の脅威は迫っていない」との発言から北朝鮮リスクが若干後退する中、再度110円台まで上昇し110.05でクローズ。本日のドル円相場は、ダドリー・ニューヨーク連銀総裁の発言などに注目しつつも、北朝鮮関連のヘッドライン等に注意する展開になりそう。一段と下落する場合については、節目となる109.50レベルを下抜けるかどうかのポイントとなるだろう。

東京	前日海外時間からの円買いの流れを引き継ぎ、東京時間オープン前に110.00近辺まで下落。かかる中、東京時間のドル円は110.11レベルでオープン。北朝鮮の地政学リスクが意識される中、日経平均株価が小幅安で寄り付いた後、下げ幅を拡大する流れにドル円は徐々に水準を切り下げる展開。110円を割り込むと先週安値(108.85)も下回り、一時109.74まで下落した。同タイミングで中国7月CPI(前年比)が発表され、やや市場予想を下回る結果(実績+1.4%、予想+1.5%)となったものの、相場への影響は限定的。午後に入り、買い戻しの動きが強まったことから一時的に110円台を回復する場面が見られたものの、依然として上値は重く110.06レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.06レベルでオープン。北朝鮮情勢を巡る懸念が強まったことに加えて、パリ郊外でフランス軍兵士のグループに乗用車が突っ込んだことを受け、テロへの警戒感も広がり、欧州の主要株価指数が軒並み下落。ドル円もリスク回避的に円が買われ、109.73レベルでNYに渡った。ポンドは1.3019レベルでオープン。英中銀が公表した報告書で英経済に対する不透明感が長期投資の重しとなり、英企業の買上げ率が小幅にとどまると示されたことで1.2986まで下落。1.2993レベルでNYに渡った。ユーロは1.1746レベルでオープン。米朝関係の緊迫化を受けスイスフランが対ユーロで急上昇。ユーロは対ドルでも1.1722まで値を下げるも、その後は1.1752まで反発。1.1739レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は109.73レベルでオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ安値となる109.56まで下落するも、109.50のサポートが意識され下げ渋る展開。その後、米務長官より「過去数日間の北朝鮮の発言を全く懸念していない」との発言を受け、ドル円はショートカバーの動きから110.17まで反発。午後に入り、ブラッド・セトルス連銀総裁(投票権無し/ハト派寄り)が「Fedのインフル目標である2%までの引き上げに失敗すると信頼性が損なわれる」との見解を示したものの、ドル円の反応は限定的となり、110.05レベルでクローズした。一方、ユーロは1.1739レベルでNYオープン。朝方は1.1715付近に観測されていたストップをつけに行く動きに、一時1.1689まで下落する。しかし、売り巡後はすぐに買戻しが強まり、1.1750まで値を戻す展開。午後は閑散な取引が続き、1.1759レベルでクローズした。(NY15:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。